

# 新美南吉記念館だより

NIIMI NANKICHI MEMORIAL MUSEUM NEWS

発行 新美南吉記念館 〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 Tel. 0569-26-4888 <http://www.nankichi.gr.jp>

## 第35回新美南吉童話賞

## 受賞者決定!!

今年是全国から一五六九編の応募がありました。受賞者の皆様、おめでとうございます。最優秀賞に輝いた「コンカラドウジ」は記念館HPで読むことができます。

### 最優秀賞

(文部科学大臣賞)

#### 「コンカラドウジ」

かやのとも  
萱野智 (大阪府枚方市)

#### 【審査員講評】

コンカラドウジというのは、不動明王の眷属といわれる八大童子のうちの一人「金伽羅童子」から着想を得たのでしょうか？ 夢と現実が交錯する不思議な味わいの物語には、どこか宮沢賢治の「風の又三郎」を彷彿とさせるところもありました。ストーリー展開や世界観にも心を惹かれましたが、何より作者の文章の力に感服しました。簡潔でありながら豊かで、繊細でありながら力強く、読者をぐんぐん作品の中へ引っばっていつてくれます。冒頭の部分から、イチヨウ並木を行く二人の少年たちの情景が印象的に目に浮かんでくるのも、この確かな文章力あってこそ。今回は審査委員全員一致で、文句なしに決まった最優秀賞作品です。(富安 陽子)

## 審査結果

### 自由創作部門

#### 【一般の部】

- ▽優秀賞 (愛知県知事賞)  
「ヒトコトザウルスにご用心」  
いちかわひい (群馬県高崎市)
- ▽優秀賞 (半田市長賞)  
「カナルは海の伝言屋」  
ごとうあやこ (長野県長野市)

- ▽特別賞 (ミツカン賞)  
「赤ちゃん卵が心配だ!」  
やまもとみきこ (愛知県高浜市)
- ▽特別賞 (知多信用金庫賞)  
「えい」  
林秀樹 (神奈川県平塚市)

- ▽特別賞 (中部電力パワーグリッド賞)  
「おむかえ自転車」  
なかむられいこ (茨城県ひたちなか市)
- ▽佳作  
「セミ」  
やまだ山田いずみ (東京都杉並区)

- 「気」の国、日本」  
さいとうまどか (愛知県刈谷市)

#### 【中学生の部】

- ▽優秀賞 (公益社団法人半田青年会議所賞)  
「イチとセン」  
本郷翼 (愛知県半田市)

- ▽特別賞 (半田信用金庫賞)  
「魔法の商人」  
行田優海 (千葉県船橋市)
- ▽佳作  
「だれでも参加オツケーです」  
井上瑞月 (大阪府大阪市)

- ▽優秀賞  
「半田市議会議長賞」  
「気ままなライオン」  
安部愛禾 (茨城県牛久市)

- ▽佳作  
「未来旅行券」  
永安寺翔 (大阪府茨木市)

- 【小学生低学年の部】  
▽優秀賞 (中日新聞社賞)  
「花とほうせき」  
畑美怜 (愛知県豊田市)

- ▽佳作  
「たつき先生大好き」  
吉田彩那 (愛知県半田市)

### 新美南吉オマージュ部門

- ▽優秀賞  
「半田市教育委員会賞」  
「ソウスケさんとオリガニ」  
伊東末夜 (愛知県半田市)

- ▽特別賞  
「新美南吉顕彰会賞」  
「冬空からのおくり物」  
小林彩野 (神奈川県川崎市)

- ▽佳作  
「翻訳のヤク」  
吉田成樹 (愛知県東海市)

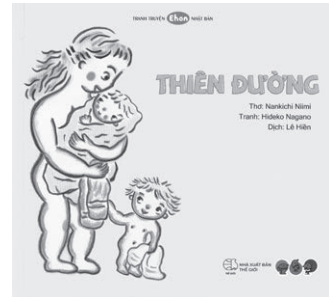
# ベトナム語になった『てんごく』

絵本作家の長野ヒデ子さんにより、今年五月、南吉の詩の絵本『てんごく』(のら書店)が出版され、更に十月にはベトナムでもベトナム語版が出版されました。

実はベトナムでは、かねてより、日本の絵本を翻訳して子どもたちへ届ける活動が行われています。きっかけは、二〇一七年に当時皇后だった美智子様がベトナムに訪問されたこと。それまで現地で行われていた子どもたちへの読み聞かせ活動に対して、美智子様が励ましの言葉をかけられたのを機に、日本の絵本を翻訳・制作・出版するプロジェクトが始まりました。その後、二〇一九年には「橋をかける基金」が設立されています。

『てんごく』がベトナム語に翻訳されたのもこの「橋をかける基金」によるもので、美智子様の誕生日である十月二十日(金)に披露されました。

さらに同基金は、同じく



(MORE Production Vietnam-刊)

十月に、日越外交関係樹立五十周年事業として、ベトナムの首都ハノイで「絵本ウィーク」根つこと翼」を開催しています。関連イベントとして長野ヒデ子さんが講演され、ベトナム語になった『てんごく』も紹介されました。現地の方々から見て南吉の詩はどのような映ったのでしょうか。

詩「天国」は、お母さんにおんぶされる赤ちゃんの幸福を描いた作品です。そこに描かれた幸福は、国や言語が違ってでも等しく感じられるものであると思います。いつか南吉の作品が、様々な人をつなぐ架け橋の一つになる時がくるのかもしれません。

# 「お屋のお供は南吉さん!?」給食食器×南吉童話

市内の子どもたちから南吉や南吉作品にちなんだデザインを募集する、半田市学校給食食器絵柄デザインコンクールには八七九点の応募がありました。審査の結果、左の三作品が採用され、十一月二十六日(日)に記念館会議室で表彰式が執り行われました。

このコンクールは半田市学校給食センター主催で、新美南吉生誕百年を記念して行われました。市では現在建設中の新学校給食センターが、来年九月から供用開始されます。これに伴い、給食食器も新しくすることから、その食器に使うデザインが募集されたのです。

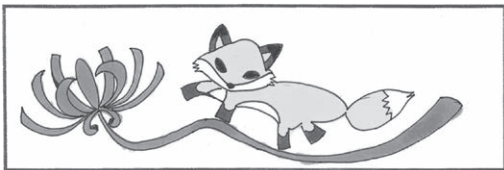
採用されたものは、いずれも単に絵柄の良さだけでなく、食器に施すイラストとしてのふさわしさも評価基準になっています。

迎えた表彰式当日は、受賞者による挨拶が一言ずつありました。それぞれ「ごんが彼岸花の上を楽しくそうに元気いっぱい走っている様子をイメージして描きました。

した」(近藤さん)、「みんなが毎日使っている食器に自分の絵が使われるなんてとても嬉しいです」(山下さん)、「おじいさんのランプ」を初めて聞いて、丸

を表現して綺麗に見えるように描きました」(杉江さん)と語り、制作の意図や受賞の喜びを聞くことができました。

## 【ごはん椀用デザイン】



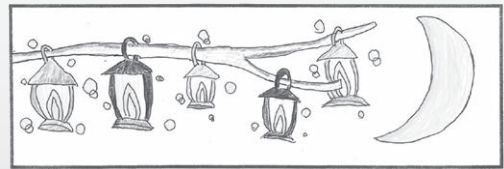
(半田中学校 1年 近藤花奈)

## 【汁椀用デザイン】



(宮池小学校 6年 山下華音)

## 【皿用デザイン】



(宮池小学校 5年 杉江菜奈)

新美南吉のふるさとに住む子どもたちが、南吉童話の描かれた食器で給食を食べる。これも一つの顕彰事業として、今後も末永く続いていくことを願います。

**文学講座** 兄さんは僕について  
すべてを知ってる  
～新美南吉にとっての巽聖歌～

南吉の死後、彼の作品を世に出すため尽力した詩人・巽聖歌。南吉にとって同じ北原白秋門下の兄弟子で、「いい兄さん」とも慕ったその関係に迫ります。

日時 令和6年3月23日(土)  
①10時～12時／②14時～16時

場所 南吉記念館 会議室

講師 遠山光嗣(南吉記念館館長)

定員 各回36名(先着順・参加無料)

申込み 2月10日(土)から記念館へ  
☎0569-26-4888

**神原澄香ペーパーアート展**  
～紙から生まれる南吉童話の世界～

ペーパーアート作家・神原澄香<sup>すみこ</sup>さんが南吉童話を題材に制作した作品を展示します。新作やペーパーアート絵本『ごんぎつね』『正坊とクロ』の挿絵など。

会期 令和6年1月27日(土)～  
4月7日(日)

「空気ポンプ」© 神原澄香

詳細情報は記念館HPへ




記念館からのお知らせ

日誌抄

- 八月(葉月)
- ▼5日 夏休み「ごんぎつね」教室。14名参加▼11日「ぱたぱた絵本をつくるう」。52名参加▼12日「紙しばい屋さん」がやってくる。60名参加▼同日「知多半島で採れた材料で写真たてをつくらう」。64名参加▼13日 長野ヒデ子×長野麻子対談講演会「お母さんと赤ちゃんの世界」南吉の詩から生まれた絵本『てんごく』。152名参加。於アイプラザ半田講堂▼16日 新美南吉記念館事業推進委員会▼27日 第191回新美南吉読書会。21名参加
- 九月(長月)
- ▼9日 半田信用金庫職員14名が奉仕活動。記念館周辺で除草とゴミ拾い▼10日 第35回新美南吉童話賞作品募集締切。応募総数1569編▼同日 東海テレビ「銅像スター調査隊!」で安城市にある南吉像が特集される▼15日 さくら小で出前授業。47名参加▼18日「AMI 南吉を歌う」。20名参加▼20日 「ごんの秋まつり」始まる(10月4日)。期間中來場者10万人▼21日 亀崎小で出前授業。77名参加▼22日 成岩小で出前授業。81名参加▼23日 「ハナノヒカリプロジェクト」▼25日 「彼岸花ウォーク」。14名参加▼27日 板山小で出前授業。62名参加▼29日 乙川小で出前授業。90名参加▼30日 「折花体験」。41名参加▼30日 「みんなの南吉展」始まる。於クラシティ・半田赤レンガ建物(10月9日)
- 十月(神無月)
- ▼1日 「ガラスワックスサシエ作り」。21名参加▼4日 「ごんの誕生日」。記念館受付で合言葉を言うトプレゼント。94名参加▼12日 乙川東小で出前授業。68名参加▼13日 半田小で出前授業。56名参加▼15日 第35回新美南吉童話賞一次審査会▼同日 「みんなの南吉展 in 新美南吉記念館」始まる(11月26日)▼22日 第192回新美南吉読書会。27名参加▼28・29日 第九回「はんだ山車まつり」。新美南吉生誕110年記念ブースを出展▼29日 「南吉と長野ヒデ子の母の世界展」終了。会期中観覧者数22955名
- 十一月(霜月)
- ▼1日 第35回新美南吉童話賞最終審査会▼3日 企画展「詩と遊ぶ・新美南吉と知多の自然」photographs「相地透」始まる(翌年1月21日)▼3～5日 「童話の森の文化祭」▼4日 半田少年少女合唱団・新美南吉生誕110年記念「ミュージカル」手ぶくろを買いた▼7～12日 新国立劇場で南吉の晩年を描いた戯曲「君は即ち春を吸ひこんだのだ」が上演される▼12日 「ツールペイント教室」。27名参加▼同日 ボランティアガイド「南吉案内人」例会▼19日 日野市で記念館館長が講演。演題「兄さんは僕についてすべてを知ってる」新美南吉にとっての巽聖歌▼24日 「県民の日学校ホリデー」で記念館を無料開放▼26日 半田市学校給食食器デザインコンクール表彰式。於記念館会議室▼同日 第193回新美南吉読書会。22名参加



## 令和5年度半田市新美南吉読書感想画コンクール受賞作品

半田市が開催している新美南吉読書感想画コンクール（事務局：半田市立図書館）には、今年度もたくさんの応募がありました。このコンクールは市内の小中学生が、南吉作品を読んだ感想を絵にするというものです。審査に小学校の教諭をはじめ、南吉記念館館長も加わっています。

今回は1,678点の応募作品の中から36点が選ばれました。そのうち半田市長賞、半田市教育委員会賞、新美南吉記念館賞、半田市立図書館賞、優秀賞（5名）を受賞した9作品をご紹介します。

〈新美南吉記念館では1月4日（木）～2月4日（日）まで優良賞を含む受賞作品36点を展示します〉



### ●半田市長賞

「木のまつり」

さかきぼらそうる  
榊原創琉（青山中学校3年）



### ●半田市教育委員会賞

「かなしいごん」

さわだかんな  
澤田菜奈（板山小学校3年）



### ●新美南吉記念館賞

「温かさ」

おさりのこのか  
長利心花（乙川中学校2年）



### ●半田市立図書館賞

「みんなうれしい木のまつり」

なかむらみのん  
中村美音（雁宿小学校2年）



### ●優秀賞

「きつねがつきませんように」

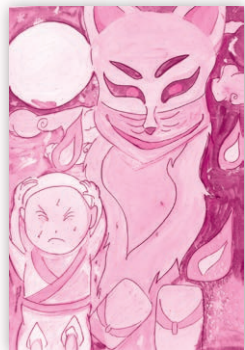
むらいりほ  
村井里帆（雁宿小学校1年）



### ●優秀賞

「この世界は美しい」

いしだりお  
石田莉織（雁宿小学校4年）



### ●優秀賞

「文六ちゃん、真夜中の恐怖」

なかしまゆうと  
中島悠人（岩滑小学校5年）



### ●優秀賞

「みんなの井戸」

とみざわのぞみ  
富澤希美（岩滑小学校6年）



### ●優秀賞

「春の暖かさとおじいさんの優しさ」

せぐちあおい  
瀬口葵（乙川中学校1年）